

おいては、絶水率試験にお
後の試料を
規定の削除
規格では、微
再生細骨材L
表面乾燥飽和
しいとされ、
を試料として
た。しかし、
協議会の会員
乾燥飽和状態
試験したとこ
試料の方が吸
ことが分かっ
れる微粒分に
ートの破砕処
セメント微粉
あり、これを
試験を行うこ
試験結果が小
の区分がかわ
など、危険側
とが考えられ
21)において

は、再生粗骨材の粒形判定
実績率について記述を改め、
使いやすくなっている。
当協議会が要望を出したも
望んでいる。

他団体と協力し普及推進 新たな流れで良い方向に

再生コン普及への課題

柴谷会長 会員社の年間出
荷量は、合計で4〜5万tほ
ど。生コン出荷量に対し、使
用の割合は変わっていない
が、生コン打設量の減少に伴
い、現在は漸減傾向にある。
これを打破するために、使用
の割合を増やしていく必要が
ある。当協議会としては、多
方面に働きかけ、普及を図っ
ている。

一方は、再生骨材を製造す
る側と、利用者側の適切なマ
ッチングが必要だと考えてい
る。行政にも積極的に動いて
いただき、両者がお互いの情
報不足を解消していく必要が
あるだろう。

人工漁礁を作っている企業
も、工場近隣に再生骨材を製
造する工場があれば、利用し
たいと話している。藻場や漁
礁を作る工場の近隣で再生路
盤材を作っている工場が、コ
ンクリートの骨材を作って
くれるようになれば、再生骨
材の普及は進むだろう。兵庫
では、会員社の近畿道路資材
が中心となって、再生路盤材
工場が再生骨材に目を向けて
くれるように働きかけを行っ
ている。

また国土交通省はM級につ
いて、建築基準法における主
要構造物の指定材料に適用す
る検討をはじめめている。大臣
認定を取得しなくても、建築
物にM級が使えるようになる
と期待している。

粒状化再生骨材など新
たな再生骨材もある。
柴谷会長 生コン・残コン
ソリューション技術研究会
(RRCS)には、私も理事
として関わっており、再生骨
材の新しい流れが、良い方向
にできつつあると考えてい
る。他団体とも協力し、再生
骨材コンクリートを普及させ
ていきたい。

コンクリートリサイクル特集

ル

特別の自信を見せる。

「RC40に比べて管
理項目は多く手間がかか
るが、品質は非常に良
い。サンプルを見たセネ
コン各社や大学の研究者
の反応は、すこぶる良
い。時代は一方通行の資
源利用であるリニアエコ
ノミーから、資源循環の
サーキュラーエコノミー
への転換期に来ていると

再生骨材に活路 滞留問題

強い追い風吹いている

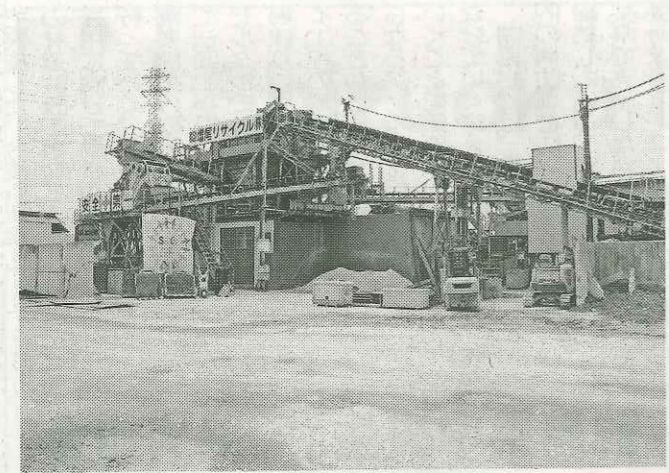
再生骨材は新材料には
ないCO₂の固定化で強
い捨てるコンに、高価で限
りある良質な新材を使う
必要はないだろう。今後
途である非構造部材は生
コン全体の8%を占める
ので、再生骨材コンクリ
ートLに置き換えること
で利益も出る。また海外
では、新材に5〜10%ほ
ど再生骨材を混入する施
工方法もあると聞いている
。再生骨材コンクリー
トM(JIS A502
た事実も知る。年間3万
m以上の再生コンを出荷
していた経験から、再生

骨材の利用は生コン業界
にメリットがあると話
す。「骨材を作る我々
と、既存の生コン業者が
巧くつながれば、その先
はJISの規定もある
し、国土交通省や東京都
の発注など公共工事でも
推奨はしている。流れは
できるはずだ」とも。

「東京都の公共工事の
場合は調達指針として、
近隣に再生コンを生産す
る生コン業者が存在する
場合は『高い強度、高い
耐久性が要求されない部
材および部位について利
用を推進する』としてい
るが、条件に適合するケ
ースが多い。再生骨材は
高強度コンクリート大臣
認定単独取得
流動化処理土

海外では再生骨材を好
む施工・施工者は少なく
ない。加工の手間から新
材よりも高額になって
も、ESG投資を受ける
観点から、新材の代用品
として再生骨材が使われ
るケースは珍しくないとい
う。一方で、朝霞工場
が生産するのはL級再生
骨材。原骨材にマルチル
物と比較的多く付着した状
態であり、H級やM級と
比較すれば少ない設備投
資で、手間をかけずに製

造が可能だ。H級よりも
使える用途は限られる
が、買い手にとっては安
価に購入できることが大
きな魅力である。しかし
同社がセールスポイント
とするのは、製造コスト
だけではない。「再生骨
材に付着するセメント
は、CO₂を吸収するこ
とが確認されている。再
生骨材はH、M、Lの順
で付着するマルチルの量
が増えるので、CO₂の
吸収量はL級が一番多
造が可能な。H級よりも
使える用途は限られる
が、買い手にとっては安
価に購入できることが大
きな魅力である。しかし
同社がセールスポイント
とするのは、製造コスト
だけではない。「再生骨
材に付着するセメント
は、CO₂を吸収するこ
とが確認されている。再
生骨材はH、M、Lの順
で付着するマルチルの量
が増えるので、CO₂の
吸収量はL級が一番多



L級再生骨材を製造可能な朝霞工場

私達は、再生骨材コンクリートで持続可能な社会を実装します。



東京テクノ

再生骨材コンクリート大臣認定共同取得
高強度コンクリート大臣認定単独取得
流動化処理土

株式会社 東京テクノ
〒195-0064東京都町田市小野路町3343
TEL:042-708-0028 FAX:042-735-6892



武蔵野土木工業 株式会社

コンクリートリサイクルで自然と社会と調和する

コンクリート用再生骨材M
コンクリート用再生骨材L

本社(町田リサイクルプラント)
〒195-0064 東京都町田市小野路町3343番地
TEL.042-734-3065 FAX.042-734-3064

産業廃棄物収集運搬・処分業、
再生砕石・再生砂、
コンクリート用再生骨材の製造販売、
流動化処理土、土木事業



サーキュラーエコノミーシステムの構築から カーボンニュートラル社会の実現へ

増尾リサイクル

本社:〒116-0013
東京都荒川区西日暮里 2-18-1 増尾ビル 8F
<http://www.masuo-group.com>

